

# メキシコ金融政策（2021年6月）

## サプライズ利上げ

2021年6月25日

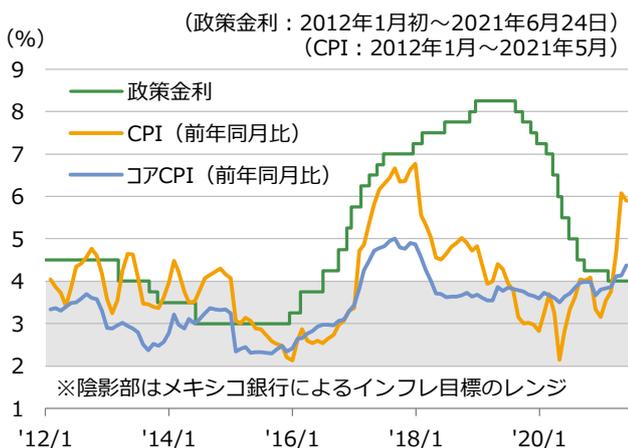
### メキシコ銀行のインフレ抑制に向けた姿勢が通貨の下支えに

メキシコ銀行（中央銀行）は6月24日（現地）、政策金利を4.00%から4.25%に引き上げると発表しました。政策委員5名の内、3名が利上げを、2名が据え置きを主張しており、僅差での決定です。ブルームバーグの集計では23名のエコノミスト全員が据え置きを予想していたため、今回の利上げはサプライズとなりました。

声明文では、これまで通りインフレ率の上振れは一時的との見解が示されていますが、インフレに影響を与えてきた要因の多様性や大きさ、また上振れ期間の長期化が、今後の価格形成にも影響するリスクが指摘されています。こうした状況を考慮し、足元のインフレ率の上振れが今後のインフレ期待に与える悪影響を回避し、目標の3%に収れんさせるためには、金融政策を引き締める必要があると利上げに至った背景が説明されています。

発表後にメキシコ・ペソは円や米ドルに対して一時2%程度上昇し、6月15・16日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）の結果を受けて下落していた分を取り戻しました。今後も米国の金融政策を巡る思惑はメキシコ・ペソにとってリスク要因ですが、インフレ率の目標回帰を遅らせる通貨安の進行をメキシコ銀行は許容しないでしょう。今回の利上げによって、市場はその意志を改めて確認したとみられるため、メキシコ銀行のインフレ抑制に向けた姿勢がメキシコ・ペソを下支えする構図が続くと考えられます。

#### メキシコの政策金利とCPI（消費者物価指数）



(出所) メキシコ銀行、ブルームバーグ

#### メキシコ・ペソの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。